

■ 歯科医師臨床研修ガイド ■

● 病院の概要

病院名	県立広島病院
開設者名	広島県知事
マッチング参加	有り
病院長氏名	木 矢 克 造
住所	〒734-8530 広島市南区宇品神田 1 丁目 5 番 54 号
電話	082-254-1818 (代表)
ファクシミリ	082-253-8274
交通手段	JR 広島駅より市内電車，宇品行き 5 番電車で県病院前下車徒歩 3 分
指定基準	単独型臨床研修施設
研修協力施設	岸本歯科医院，ヒライワ歯科医院，広島県赤十字血液センター，広島県西部保健所
研修管理委員長名	歯科・口腔外科主任部長 桐 山 健
プログラム責任者	
(兼) 指導歯科医	歯科・口腔外科主任部長 桐 山 健
研修プログラム	県立広島病院歯科医師臨床研修プログラム (単独型研修)
臨床病理研究会	
(CPC) の実施状況	昨年度 5 回 剖検数 19 件
図書室	有り
院内で利用できる	国内：メディカルオンライン，医学中央雑誌
データベース	国外：Up To Date
インターネット	有り

● 診療紹介

当院は，広島県民 2 8 3 万人の中核的，先端的高度医療機関として，高度専門医療，救急医療，総合医療の三位一体をモットーに診療を行っています。

こうした医療を支えるため，チーム医療体制をとり，救命救急センター，腎臓総合医療センター，地域連携センター，地域医療支援センター，緩和ケア支援センター，成育医療センター，脳心臓血管センター，呼吸器センター等を設置しています。

(厚生労働省認定施設等状況)

- ・臨床研修指定病院 (S46. 3. 31 認定)
- ・臨床修練指定病院 (S63. 3. 29 認定)
- ・救命救急センター (H8. 11. 1 認定)
- ・基幹災害医療拠点病院 (H9. 2. 14 認定)
- ・広島県エイズ治療拠点病院 (H7. 6. 26 認定)
- ・中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院 (H9. 4. 25 認定)
- ・広島県エイズ治療中核拠点病院 (H19. 6. 1 認定)
- ・総合周産期母子医療センター (H11. 3. 30 認定)

- ・臓器提供施設（H11. 7. 15 認定）
- ・病院機能評価認定施設（H16. 4. 19 認定）
- ・がん診療連携拠点病院（H18. 8. 24 認定）
- ・地域医療支援病院（H19. 8. 27 認定）

当院の歯科・口腔外科では、口腔外科と補綴科の専門医により、幅広い領域において高度医療を提供します。口腔外科では、口腔がん、顎顔面外傷、口唇・口蓋裂をメインに診療を行っています。救命救急センターにおける重度顔面外傷の症例数は中四国でトップです。放射線診断科・治療科との協力により口腔がんに対する超選択的動注化学療法を実施し、高い抗腫瘍効果を上げています。口唇・口蓋裂の総合的治療に取り組み、審美的、機能的に良好な成果を上げています。全身疾患を有する患者さんの歯科治療にも積極的に取り組んでいます。

顎関節症や義歯難症例の補綴治療では定評があります。さらに、睡眠時無呼吸症候群に対するスリープスプリントによる治療や、口腔ケアと摂食嚥下障害のリハビリテーションにも力を注いでいます。

● 診療内容

（1）患者数

当科は、月間外来患者約 960 人、年間入院患者約 150 人の診療に当たっています。

（2）重度顔面外傷治療

口腔外科では、救命救急医療に積極的に参画し、多発（重度）外傷における顔面外傷治療のメインメンバーとして 24 時間の待機体制で協力しています。

（3）口腔がん治療

年間 10 数件の口腔がん手術を行っています。当院の口腔がん治療の特色としては、一般的な放射線・化学・手術の 3 者併用療法に加えて、副作用の軽減と高い抗腫瘍効果を目的として、超選択的動注化学療法を導入しています。主として舌がん、上顎がんに対して、放射線治療と超選択的動注化学療法ならびに手術療法を併用し高い治療成績を挙げています。

（4）口唇・口蓋裂治療

口唇・口蓋裂の治療では出生時から青年期に至るまで、成長に応じた諸問題に総合的に対応していく一貫治療を行っています。

また、新生児科、小児科、耳鼻科、小児感覚器科、矯正歯科、小児歯科と協力してチーム医療を行い、患児の健やかな成長を目指しています。出生時から哺乳指導やホッツ床による顎指導を行い、口唇裂は生後 3～6 ヶ月、口蓋裂は 1 歳～1 歳 6 ヶ月に手術を施行しています。さらに成長に従って、外鼻修正術、顎裂部への骨移植術、顎変形症手術などを行っています。

（5）顎変形症治療

顎変形症（受け口、出っ歯など）では、矯正歯科医の協力により、審美的・機能的な要求を充足しうる手術を行っており、術中出血に対しては事前に採取した自己血輸血を利用しています。

(6) 顎関節症治療

年間約 150 人の顎関節症治療に当たっています。顎関節症の治療では独自のスプリント療法と咬合治療により高い治療成績を上げています。

(7) 補綴治療等

補綴治療においては、特に個々の患者さんに最適な方法で口腔の健康が回復・維持できるように心がけています。呼吸器内科・リウマチ科，耳鼻咽喉科・頭頸部外科からの紹介により睡眠時無呼吸症候群に対するスリープスプリント治療を行っており，下顎の保持力が強い改良型スプリントを用いて無呼吸の改善が認められています。

また最近では，脳神経外科と協力して急性期からの口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションにも力を注いでおり，全身的合併症の減少や早期の経口摂取の獲得などの効果を上げています。

(8) 頭頸部がん，消化器がん，呼吸器がんで手術を受けられる患者，あるいは抗がん剤治療や放射線治療を受けられる患者の周術期口腔管理に取り組み，合併症や副作用の軽減に努めています

(9) その他

全身疾患を有する患者さんの歯科治療では，かかりつけ医との連携をとりながら，全身状態をよく把握して治療に当たっています。

● 診療実績

(1) 外来手術は年間約 400 件，年間の入院手術件数は 140 件で，3 年間の平均では入院手術の疾患別内訳は，顎顔面骨骨折 40%，口唇裂・口蓋裂 20%，口腔がん 15%，良性腫瘍・嚢胞 11%，顎変形症 5%，その他（骨髄炎など）9%でした。

(2) 口腔がん全症例の 3 年生存率は 90%，5 年生存率は 85%で，他の口腔外科施設に比較して高い生存率を得ています。超選択的動注化学療法＋放射線療法を施行した症例ではがん細胞の消失例も認めており，奏効率は 100%です。

(3) 口唇裂症例では審美的・機能的に患者家族が十分に満足される結果を得ています。

(4) 口蓋裂の症例では約 90%が正常言語を獲得しています。

(5) 顎関節症ではスプリント治療により奏効率約 90%の治療成績を上げています。

● 教育体制

当院は，症例が豊富で多数の学会から研修・教育施設の指定を受けており，充実した指導体制となっています。

指導歯科医はプログラム責任者を兼任しています。研修歯科医の指導に当たっては、指導歯科医と上級歯科医が協力して行いますが，上級歯科医は指導歯科医の指示のもとに研修歯科医の指導・評価を行い，その内容については逐次指導歯科医に報告します。

また歯科衛生士，看護師，その他の医療メンバーも指導歯科医と協力して，研修歯科医の指導に当たります。

1年目の前期研修（必修研修）は、県立広島病院で11ヶ月間、研修協力施設（歯科診療所）で約1ヶ月、地域医療研修で1～2日の研修構成です。

2年目の後期研修では、県立広島病院で1年間、より実践的な研修として、指導医のもと主治医として外来・入院患者の一貫治療にあたります。

● 教育・研修活動

- (1) 当院は、日本口腔外科学会及び日本補綴歯科学会の認定研修機関に指定されています。
- (2) 日本口腔外科学会、日本臨床救急医学会、日本口蓋裂学会、日本補綴歯科学会、日本顎咬合学会等、多くの学会・研究会に論文・演題を発表し、医学研究活動を積極的に行っています。
- (3) 当院は歯科医師臨床研修の単独型研修指定病院です。初期研修1年と後期研修1年の2年間の研修で口腔外科・一般歯科ならびに全身管理を修得し、総合的な歯科医師を育成しています。

● 病院見学

実施時期	随時
連絡先	担当：臨床研修支援室（総務課内）井元・百本 電話：082-254-1818（内線4262, 4264） E-mail:hphsoumu@pref.hiroshima.lg.jp